



さとう ひろゆき
佐藤 広幸 議員

衛星米ブランド化の現状は

産直まんさくで試験販売



ブランド化の成功を期待したい

質問 町は令和6年度、稲育成管理システムを約500万円かけ導入し、衛星米ブランド化に向けてJAや町内米穀業者等と協議し、付加価値の高い商品の検討を進めるとしていました。現在の進捗状況はどの様になっているのか質問いたします。

町長 平成30年産米から国の生産数量目標配分が廃止されることに伴い、米の差別化と、売れる米づくり、売れ残らない米づくりを推進するため、平成30年度から、有人宇宙システム株式会社を業務委託先として、町独自のシステム構築に着手していますが、ブランド化を進める中で大きな課題

質問 町は令和5年猿羽根山、農林漁業体験実習館周辺山林507300㎡を取得、令和6年中学校グラウンド脇の山林28262㎡の取得等町の山林の面積が増えていま

森林整備を積極的に進める政策を森環境課と税を活用し整備する

があります。それは、本格的にブランド化を進めるには、米の販売者がブランド化に取り組み必要があります。しかし、町内のJAや米穀取り扱い業者は衛星システムを活用したブランド米販売に取り組む考えはないようです。その中でも、「産直まんさく」において、商品名を「縄文の女神米」と定め、2キログラム入りの紙袋に今回デザインしたシールを貼りつけ、11月15日から、50袋を試験販売しています。

町長 全国的に自伐型林業が推進され少しずつ森林整備が進められており町においても自伐型林業の可能性について検討を進め森林の有効活用する政策が必要だと考えます。町の森林活用を考えを質問します。

であると考えています。それは、間伐をみずから実施するには、木を見る目やチェーンソーを使った間伐の方法など、技術習得に時間がかかることや、伐採木の販売先が町内に無いからです。町としては、森林環境課と税を活用した、森林整備を推進していく考えです。



森林整備が町の産業になることを期待したい



いとう ひろよし
伊藤 廣好 議員

喫煙率目標達成への喫煙対策を

禁煙・受動喫煙防止に努めていく



受動喫煙防止の話し合いを家庭で

質問 令和6年3月の形町国民健康保険健康事業計画によると町の喫煙率は16.7%、男女とも県平均13.2%を上回っています。町民の健康寿命と子どもたちの健康を守るために、追加の喫煙対策、受動喫煙防止啓発に取り組む考えは。

町長 健康診断結果配布時の個別面談や母子手帳交付・乳幼児健診の際に家庭の喫煙状況を把握し、禁煙及び受動喫煙防止の指導をしています。

質問 山形市のような「子どもの受動喫煙防止条例」を制定する考えはないか。

町長 受動喫煙防止条例の制定については、現時点では考えていません。

質問 子どもたちの家庭での受動喫煙の状況をどのように把握しているのか。

町長 学校及び教育委員会では客観的に把握しているデータはありませんが、学校の喫煙防止授業の中で、家庭の喫煙状況を把握し指導しています。

質問 今後、町民向けの禁煙講演会などの計画は考えていませんか。

町長 喫煙、禁煙に対する講演会の必要性については今後、健康福祉課を中心に検討させていただきます。

質問 児童・生徒、保護者など学校関係者の禁煙教育の機会を検討してはどうか。

教育長 重要なことであり、例えば、学校における喫煙防止教育を子どもたちと保護者が一緒に学べる授業参観などは可能かと考えています。

今季の除排雪体制を万全に
こまめな排雪で車両の通行確保

質問 雪寄せ場の少ない地域において車両の通行確保をどのように考えているのか。

町長 堆雪場の土地所有者と地域住民の理解のもと堆雪しておりますので、今後も小まめな排雪作業をすることで車両通行の安全確保に努めていきます。

質問 民地の雪寄せ場の固定資産税を減免する考えはないか。

町長 青森市、新庄市で事例はあるが、多くの自治体では減免していない



今季除雪の安全祈願祭

状況にあり、従来通り町民のご協力をいただきながら、堆雪場を確保し、今後も円滑な除排雪事業ができるように努めてまいります。したがって、現時点における固定資産税減免は考えていません。